

令和元年度(2019)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業報告

目 次

I 概況	5
II 公益目的事業	6
1. 芸術文化振興事業	6
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	6
(2) 出雲芸術アカデミー事業	1 2
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	1 6
2. 博物館事業（出雲文化伝承館、平田本陣記念館）	1 7
(1) 展示事業	1 8
(2) 出雲和文化交流会事業	2 4
(3) 郷土資料調査活用事業	2 5
(4) 呈茶事業	2 5
(5) 文化財保存公開事業	2 5
(6) その他 共催事業等	2 7
3. 貸館事業	2 8
(1) 概況	2 8
(2) 出雲市民会館	2 9
(3) ビッグハート出雲	3 0
(4) 平田文化館	3 1
(5) 大社文化プレイスうらら館	3 2
(6) 出雲文化伝承館	3 2
(7) 平田本陣記念館	3 6
(8) 貸館事業資料(館別)	3 8
III 収益事業	4 3
1. 貸館事業	4 3
2. その他事業	4 3
(1) 物販事業	4 3
(2) 大社図書館管理事業	4 3
IV 理事会及び評議員会の開催状況	4 4
V 組織図	4 7

令和元年度(2019)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告

I 概況

出雲市芸術文化振興財団は、平成25年4月1日に公益財団法人となって以来7年目に入り、芸術文化の振興を目的として公益事業の推進に一層取り組むとともに、法人改革の狙いの一つである「民による公益の増進」を根底に据え、芸術文化振興事業や、博物館事業において、また、文化施設の貸館事業においてそれぞれ着実にその成果を残してきました。

しかしながら、現在（令和2年上半期現在）、新型コロナウイルス感染症の猛威が世界中を席捲しており、わが国も、緊急事態宣言が発せられるなど多方面に深刻な影響を受けています。

出雲市の文化事業においても、感染拡大防止のため、2月ごろから、様々なイベント、公演、各種会議が中止となっており、各施設とも、多くのキャンセルが発生し、利用者減、利用料金収入減となりました。令和2年度4月以降も厳しい状況が続いています。

さて、令和元年度の事業につきましては、まず、芸術文化振興事業において、第25回を迎えた出雲総合芸術文化祭事業では、「松竹大歌舞伎」「五嶋みどりヴァイオリン・リサイタル」など多彩な事業を展開する一方、出雲芸術アカデミーでは、文化庁が推進する「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の助成を活用し、芸術文化活動を担い支える人材の育成や、子どもから大人まで多くの市民に楽しんでもいただけるよう事業の充実を図るなど、「音楽のまち 出雲」の一翼を担ってまいりました。

そのような中で、感染症拡大防止のため、主要事業のひとつであります3月の「出雲の春音楽祭 2020」が、開催中止を余儀なくされました。連作交響神楽などの管弦楽、邦楽合奏を楽しんでいただく予定でしたが、誠に残念な状況となりました。

また、博物館事業においては、出雲文化伝承館、平田本陣記念館それぞれの持ち味とスケールメリットを活かし、連携した企画展示などを行い、そのうち出雲文化伝承館では、「出雲の偉人たち」展などを、平田本陣記念館では「山川惣治展」などを、幅広く開催し、事業の充実に努めてまいりました。3月以降はこちらも、感染症拡大防止のため、PRも控え目にするなど来館者への配慮に努めたところです。

他方、施設管理業務においては、指定管理者として出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館及び大社文化プレイスうらら館の4つのホール系施設、出雲文化伝承館及び

平田本陣記念館の2つの展示系施設合わせて6施設の管理とともに大社図書館の施設管理を別途受託し、出雲市の文化施設及び教育施設を管理運営してまいりました。

また、2月ごろから、アルコール消毒液の設置や、咳エチケット及び手洗いについて、掲示を増やすなど、来館者への注意喚起に努めたところです。

当財団では、令和元年10月の消費税改正関連の市条例改正に伴う使用料改定について事前周知に努めたほか、各施設毎の施設管理規程（管理マニュアル）に基づき、利用料の減免が受けられる場合など具体的に当財団のホームページに掲載するとともに、窓口にお問い合わせに対応する旨を表示し、利用者の利便性向上に努めているところであります。

残念ながら、2月末以降、利用申し込みのキャンセルが相次ぎ、各施設とも厳しい状況が続いていますが、1日も早く事態が収束することを願うとともに、引き続き出雲市における芸術文化の振興、発展に貢献する役割に徹し、市民の皆さま及び地域のニーズに柔軟に応え、一層の文化力向上に努めてまいります。

Ⅱ 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

出雲市芸術文化振興指針（第2次）を基本としたうえで、「本物志向と住民参加」をテーマとする出雲総合芸術文化祭事業は、優れた芸術作品や芸術家を招致する鑑賞事業及び実行委員会が主体となった自主事業等に幅広く取り組みました。

鑑賞事業のうち、次世代鑑賞者育成事業では、オペラシアターこんにゃく座のオペラ「ロはロボットの口」を実施しました。スピーディーな場面展開やダイナミックな演出など、オペラの様々な要素がすべて入ったステージは、若い世代の鑑賞能力の向上及び芸術文化の担い手の育成につながったものと考えています。

古典芸能事業として開催した、第28回出雲阿国歌舞伎「松竹大歌舞伎」は、松本白鸚、幸四郎親子による華やかな襲名披露となりました。

音楽ジャンルでは、世界的なヴァイオリニストである「五嶋みどりヴァイオリン・リサイタル」を開催しました。公演前日には、五嶋みどりさんと出雲 Jr. フィルメンバーの交流会が実現し、当日のプレイベントにおいても、出雲 Jr. フィルメンバーの演奏を

観客に披露するなど、参加した子どもたちにとって貴重な経験となったと考えています。

また、世界で最も有名なブラスクインテットとされる「カナディアン・ブラス」コンサートでは、島根県吹奏楽連盟出雲支部の協力のもと、多くの子どもたちの参加がありました。この日は、本番に先立ち、50名の子どもたちがクリニック（演奏指導）を受けることができました。受講した子どもたちにとって大きな刺激になったと思います。

また、鑑賞事業の幅を広げ、鑑賞者の開拓及びリピーターの確保につなげるよう、他団体との共催事業にも積極的に取り組み、「沢田研二 LIVE 2019」や「出雲阿国舞踊集団による舞踊公演」を開催しました。ただし、コロナウイルスの影響を受け、NHK ラジオの公開収録番組「上方演芸会」は中止に、また、古典芸能事業「桂吉弥落語会 Vol. 12」は来年度に延期となりました。

自主事業については、「出雲の春音楽祭 2020」はコロナウイルスの影響を考慮し、残念ながら中止の決定をしました。なお、囲碁・将棋フェスティバル、音楽コンクール、新春コンサートなどの事業は、地域の関係者が中心となって組織した実行委員会により着実に取り組みました。様々な経緯により継続している各事業は、アンケートや外部評価等を踏まえ、実施体制の整備や事業の改善を図り、さらなる成果につながるよう努めます。

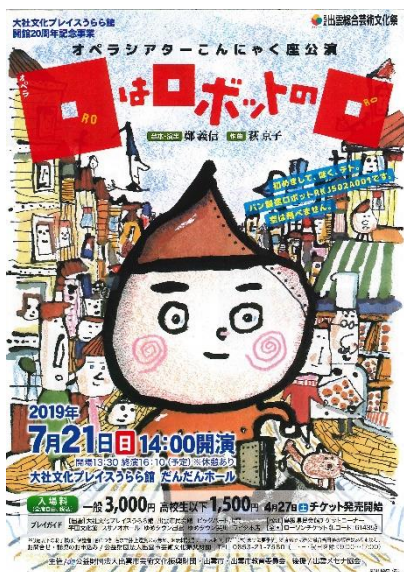
また、地域の芸術文化における人材育成を目指し、アートマネジメント研修を実施し、マネジメント能力の向上を図りました。

このように事業の企画から研修の実施まで様々な視点から地域の芸術文化振興に取り組んでおり、今後も引き続き常に新しい分野、新しい要素を取り入れながら地域の文化力向上に努める考えです。

① 鑑賞事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳 (円)		
				入場料	助成金・ 雑収入等	負担金
1	第 28 回出雲阿国歌舞伎 「松竹大歌舞伎」 4 月 18 日 (木)、出雲市民会館 昼夜 2 回公演	入場 1,411 人	12,485,596	8,818,500	83,770	3,583,326

2	オペラシアターこんにゃく座 オペラ「口はロボットの口」 7月21日(日)、大社うらら館 次世代鑑賞者育成事業	入場 321 人	2,615,965	354,200	—	2,261,765
3	五嶋みどり ヴァイオリン・リサイタル 10月5日(土)、大社うらら館 アカデミーJr がプレコンサート に出演	入場 586 人	7,292,550	4,311,000	18,381	2,963,169
4	カナディアン・プラス結成 50 周年 ツアー in 出雲 1月25日(土)、出雲市民会館 中高生クリニックも実施	入場 1,000 人	5,438,787	2,506,500	1,819,250 (文化庁)	1,113,037
小計		入場 3,318 人	27,832,898	15,990,200	1,921,401	9,921,297



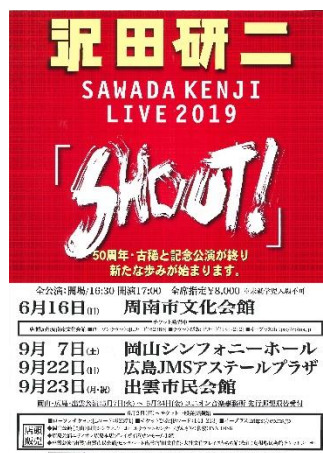


② 自主事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	将棋フェスティバル 7月28日(日)、出雲弥生の森 プロ棋士による指導対局、第9回 里見香奈杯ジュニア将棋大会 指導棋士：塚田恵梨花女流初段ほか	参加 103人 (対局 40人) (大会 63人)	482,307	65,400	—	416,907
2	出雲囲碁フェスティバル 8月3日(土)、大社うらら館 親子入門教室、ジュニア指導対局、 第17回出雲ジュニア囲碁大会 指導棋士：桑本晋平七段	参加 58人 (対局 9人) (大会 49人)	315,879	20,400	—	295,479
3	第18回いずも音楽コンクール 11月16日(土)、17日(日) ビッグハート出雲 小中学生を対象とした歌唱、弦楽器、 ピアノ部門のコンクール	参加 131人 入場 242人	967,646	276,000	—	691,646

③ 共催事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	第17回サウンドフェスタ大心路 8月25日(日)、ビッグハート出雲 出雲地域で活動する音楽家やダンスチームによるライブ	参加 67 人 入場 193 人	200,000	—	—	200,000
2	沢田研二 LIVE2019「SHOUT!」 9月23日(月・祝)、出雲市民会館 ユニオン音楽事務所との共催	入場 1,224 人	343,795	—	2,350	341,445
3	第11回出雲神在月市民芸術文化の祭典 10月20日(日)、大社うらら館 市内の芸術団体が集い、各地域の 伝統芸能や創作芸能を披露	参加 230 人 入場 795 人	1,500,216	—	—	1,500,216
4	出雲阿国舞踊集団による舞踊公演 1月13日(月・祝)、大社うらら館 出雲市文化芸術振興実委との共催	入場 600 人	239,683	—	—	239,683
5	NHK 公開収録「上方演芸会」 3月13日(金)、平田文化館 コロナウイルスの影響で中止	—	149,820	—	—	149,820
6	桂吉弥 落語会 Vol.12 3月24日(日)、大社うらら館 コロナウイルスの影響で延期	—	—	—	—	—
小計		参加 297 人 入場 2,812 人	2,433,514	—	2,350	2,431,164



④ 人材育成事業

NO	事業名・概要	参加数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	アートマネジメント人材育成事業 「オペラ制作コース」 10月6日(日)、12月6日(金) 出雲交流会館 講師：蓮井求道、平野一郎	53人	190,248	26,500	120,000 (文化庁)	43,748
小計		参加 53人	190,248	26,500	120,000	43,748
全体管理費（出雲総合芸術文化祭全体管理経費）			2,370,635	—	200,107	2,170,528
次年度準備			1,384,565	—	—	1,384,565
合計		参加 659人 入場 6,582人	39,164,206	16,616,100	4,093,858	18,454,248

(2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは、「音楽のまち出雲」の推進に向け、講座運営、演奏会活動、アウトリーチ活動等の事業に積極的に取り組みました。取組に際しては、継続的・安定的に実施できるよう、文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の助成も活用しながら、推進委員会、企画会、講座運営会議、フィルハーモニー会等において検討協議を重ね、市民が身近に演奏に触れ、親しむ機会の増大を図るとともに、次代の芸術文化の担い手の育成に力を入れました。

一方、子どもの習い事の多様化や、就労する保護者の増加に伴う生活環境の変化などから受講生は減少傾向にあり、講座の新設や無料体験講座の開講、魅力あるプログラムへの改善など対策を講じ、受講生の確保に全力で取り組んでいます。また、毎年開催している「うたなかまコンサート」と「ファミリーコンサート」では、受講生が1年間の学びの集大成を披露するとともに、アカデミー活動を広くPRしました。

演奏会活動では、出雲フィルハーモニー交響楽団及び出雲 Jr. フィルを中心に演奏会を開催し、それぞれ好評を得ました。

このうち、出雲フィルハーモニー交響楽団第23回定期演奏会では、グレートジャパン・グレートブリテンをテーマにして斬新な曲目に取り組み、来場者、出演者双方が魅力を感じる演奏を提供することができました。

また、「出雲 Jr. フィル第7回プロムナードコンサート」では、全国大会に出場した出雲市立北陽小学校音楽部（合唱）を友情出演としてゲストに迎え、コーラスとオーケストラの演奏を格調高く行い好評を得ました。

普及啓発事業では、演奏家が直接出向くアウトリーチ活動を市内保育所、幼稚園、小学校及び福祉施設 20 か所で実施しました。生の演奏に触れていただくことで、日頃、演奏会場へなかなか来場できない方、音楽芸術に接する機会の少ない方の興味、関心を喚起できたものと思います。

さらに、第 2 回となる「春まちコンサート」では、アウトリーチで訪問した先の皆さんにホールに出かけてもらい鑑賞する機会を設けるとともに、親しみやすい内容もあって一般を含め多くの方に来場してもらい、新たな観客の開拓に資することができました。

また、市役所ロビーコンサート、依頼による演奏家の紹介及び演奏のコーディネートなどの事業にも積極的に取り組むことで、生の演奏を届け、多くの市民の皆さんに楽しんでいただくとともに、アカデミー活動の P R など広報活動に努めました。

今後も演奏活動を担う「出雲フィル」を核として、人材育成活動の「音楽院」、学術研究活動の「音楽研究院」が一体となった魅力的な事業を展開し、地域に根ざした芸術文化の振興を図ります。

① 講座（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

科・コース名 講 座 名	対 象	受講者数	回 数	受講料
幼児科・音楽入門（親子）	幼児と保護者	61 人(29 組+3 人)	年間 20～22 回	月 2,000 円
ホップ	3 歳児と保護者	14 人(7 組)		
ステップ	4～5 歳児と保護者	44 人(22 組)		
ジャンプ	6 歳児	3 人		
本科		152 人	年間 40～44 回	
音楽入門	小 1～3	19 人		月 2,500 円
合唱	小 4～高 2	28 人		月 2,500 円
オーケストラ	小 1～高 2	105 人		
弦楽器入門	初心者	11 人		月 5,000 円
オーケストラ	経験者	94 人		月 3,500 円
別科		137 人		
コーラスパートリー	18 歳以上	58 人	月 3 回程度	月 2,500 円
アケイング・クワイ		16 人	月 2 回程度	月 2,000 円

	オーケストラパートリー		47 人	月 2 回程度	月 3,000 円
	邦楽合奏		16 人	月 1 回程度	月 1,500 円
3 科合計			350 人		
特別講座			2 人		
	チェロ体験教室		2 人	月 3 回程度	—
受講者合計			352 人		

② 演奏会等

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・支 援金等	補助金・ 自主財源
1	第 14 回ファミリーコンサート (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:4 月 21 日 (日) 内容/本科音楽入門・合唱・オケ、 別科合唱による演奏	参加 212 人 入場 575 人	1,593,716	640,200	348,000	605,516
2	出雲フィルハーモニー交響楽団 第 23 回定期演奏会 (会場:出雲市民会館) 開催日:7 月 15 日 (月・祝) オーケストラセミナー実施 7/13~	参加 82 人 入場 776 人	3,713,566	969,240	1,078,000	1,666,326
3	出雲 Jr. フィル第 7 回 プロムナードコンサート (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:11 月 10 日 (日) ジュニア単独コンサート	参加 122 人 入場 533 人	2,129,077	629,000	478,000	1,022,077
4	うたなかまこんさーと 2020 (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:1 月 26 日 (日) 幼児科で学ぶ親子のステージと、講 師によるコンサート	参加 45 人 入場 341 人	651,292	144,300	20,000	486,992
5	アウトリーチ 〈音楽&音楽家の出前 2019〉 会場:市内保育所・幼稚園・小学 校、病院・福祉施設等 開催日:9 月~1 月 (出雲フィル・チ ェンバーオーケストラに所属する演 奏家による演奏を市内の 20 施設で 実施)	参加 1,856 人	779,456	—	274,400	505,056

6	アウトリーチコンサート (福来たる！出雲フィルハーモニー 夢いっぱい♪春まちコンサート 2020) (会場: 平田文化館) 開催日: 2月11日(火・祝) アウトリーチ事業の集大成として出 雲フィル・チェンバーオーケストラ の音楽家たちによるコンサート	参加 23 人 入場 515 人	1, 174, 756	155, 000	411, 600	608, 156
	計	参加 2, 340 人 入場 2, 740 人	10, 041, 863	2, 537, 740	2, 610, 000	4, 894, 123





(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局として、文化団体への財政支援事業（10 事業）、市内の小学校への芸術家派遣事業（5 事業）等を実施しました。

また、財団と共催で実施した、第 28 回出雲阿国歌舞伎「松竹大歌舞伎」、「カナディアン・ブラス」コンサートでは、併せて 373 名の会員の鑑賞がありました。

令和元年 12 月末現在で、会員は 231 会員（573 口）。昨年に比べ、会員は 3 名の増となりましたが、口数は 8 口の減となりました。

2. 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）

出雲文化伝承館と平田本陣記念館の博物館事業では（1）展示事業、（2）出雲和文化交流会事業、（3）郷土資料調査活用事業、（4）呈茶事業、（5）文化財保存公開事業を行いました。展示事業では、市民や来館者の皆様に日本や出雲地方の優れた芸術文化、歴史等を紹介し、その他の事業でも伝統文化などに触れていただくとともに、あわせて郷土の魅力を再認識していただくことを目標に事業を行いました。博物館事業により出雲文化伝承館、平田本陣記念館の利用をより推進し、施設を十分に活用するよう努力しました。

展示事業については、伝承館では6つの展覧会を開催し、とくに「出雲の偉人たち」展は郷土を見つめ直す企画として好評でした。本陣記念館では5つの展覧会を開催し、「マイメロディ♡キキ&ララ☆展」は幅広い層から多くの観覧者がありました。また2館同時開催の「アートになった猫たち展」を開催しました。

また出雲和文化交流会事業では、17回目となる「出雲和文化まつり」を伝承館で開催し、出雲市華道連盟、出雲邦楽邦舞の会、茶道各流派のほか、和文化関連団体と共催して広く和文化の発信と普及に努めました。このたびは地域の皆様に協力や協賛をいただき軽トラ市、骨董市、フリーマーケット、「火の用心・消防車がやってくる」などを企画して集客を工夫するとともに、広告協賛を募るなど財源の確保に努め事業を推進しました。

郷土資料調査活用事業では、館蔵の古文書を活用するため整理作業を行いました。

呈茶事業では両館で誘客に努め合計4,032人の利用があり、伝統文化の継承、普及に貢献しました。

文化財保存公開事業では、2館の施設について館長等が説明にあたるなど、計2,538人の利用がありました。伝承館では独楽庵についての問い合わせや来館が増え、また本陣記念館は市内小学生対象の民具の解説が好評でした。

【出雲文化伝承館 入館者数】

	開館日数	本館入館者数		
		総数	内個人	内団体
令和元年度	318 日	82,463 人	81,446 人	1,017 人

【平田本陣記念館 入館者数】

	開館日数	入館者数
令和元年度	308 日	30,410 人

(1) 展示事業

出雲文化伝承館では6回、平田本陣記念館で5回の展覧会を開催しました。

伝承館では「朝鮮陶磁と東南アジアの“やきもの”」、「出雲の洋画展」、「奇々怪々！お化け浮世絵展」、「出雲の偉人たち」、「アートになった猫たち展」、「出雲の茶陶展」（令和2年度継続事業）を開催しました。

本陣記念館では「山川惣治展」、「マイメロディ♡キキ&ララ☆展」、「城戸真亜子展」、「アートになった猫たち展」、「羽賀翔一展」（令和2年度継続事業）を開催しました。「アートになった猫たち展」は伝承館、本陣記念館の2館同時開催展として、誘客に努めました。なお2月末から新型コロナウイルスの影響で見込みより来館者が減少しました。

展覧会の内容は郷土関係、日本の優れた美術工芸、また大衆芸術など広い分野にわたります。引き続き出雲ゆかりの美術工芸、歴史等の資料調査と研究を進めながら、多彩な展覧会を企画するよう努めます。

また観覧者の意見を反映してリピーターを増やすため、アンケートの実施（伝承館212枚・本陣記念館1,252枚）や「ご縁カード」（伝承館 回数割引 新規260枚）を発行するとともに、ホームページ、フェイスブック（更新 伝承館285回・本陣記念館36回）などで情報発信するなど集客に努めました。

今後も、博物館事業のミッションと収益のバランスをはかりながら、事業の集中と精選、関連事業の開催などに努め、より魅力ある展示事業に取り組みます。

① 出雲文化伝承館は展覧会を6回開催し、観覧者等の合計8,618人でした。

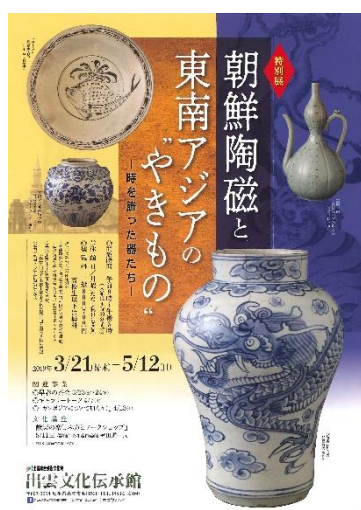
展 覧 会 名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
「朝鮮陶磁と東南アジアの“やきもの”」 古くから日本に舶来した朝鮮半島と東南アジアの陶磁器を系統だてて紹介した。個性豊かで特色ある141点を展示した。	4月2日～ 5月12日 38日間	555人 (30年度 674人)	一般 800円 高校生以下 無料	244,700円
・ギャラリートーク 島津法樹氏（東南アジア古陶磁研究会）	4/7	(30人)		

・カンボジアについて知ろう！！ 岩田和美氏、上田美和氏 (青年海外協力隊経験者)	4/13	13 人		
「出雲の洋画展」 館蔵品を中心に明治時代から現代 までの出雲ゆかりの洋画家 14 人の 大作を中心に 30 点を展示した。	6 月 1 日～ 6 月 30 日 26 日間	383 人	一般 500 円 高校生以下 無料	115,600 円
「奇々怪々！お化け浮世絵展」 夏につきもののお化けや妖怪は庶 民の間に語り継がれてきた。本展で は百物語のお岩、皿屋敷のお菊、酒 呑童子、大百足、化け猫やこれらを 退治するヒーローなど、浮世絵を中 心に 107 点を紹介した。 夜間（20 時まで）の特別開館を 4 日 実施。	7 月 13 日 ～ 9 月 1 日 46 日間	3,404 人	一般 800 円 高校生以下 無料	1,361,300 円
・ギャラリートーク 中右瑛氏（国際浮世絵学会常任理事）	7/13	(17 人)		
・キッズホラーツアー（子ども向けギャラ リートーク）3 回 副館長	7/14、8/4、 8/11	(94 人)		
・古典落語「お菊の皿」 春雨や落雷氏	8/3	(58 人)		
「出雲の偉人たち」 国内外で活躍した出雲市ゆかりの 政治家、実業家、文化人、宗教家な どの 89 人の足跡をさまざまな資料 により紹介した。	10 月 12 日 ～ 11 月 24 日 40 日間	1,967 人	一般 700 円 高校生以下 無料	846,000 円
・講演会 「八雲立つ出雲の医学」 梶谷光弘氏 (公益財団法人いづも財団事務局次長)	10/13	70 人		
・ギャラリートーク 5 回	10/20、27、 11/3、23、24	(91 人)		
2 館同時開催 「アートになった猫たち展」 江戸時代の浮世絵と日本画を中心 に、猫をモチーフにしたアート約 120 点を展示。	12 月 11 日 ～2 月 2 日 43 日間	1,050 人	一般 600 円 高校生以下 無料	338,900 円
※初めての陶芸教室 糸賀正和氏、岡美恵子氏	1/12、25	(20 人)		

※掛軸の取扱方教室	12/14	(4人)		
・おおたとしこ「コルクの絵 猫たち展」 会場 文化工房展示室	12/11～2/11	983人		
「出雲の茶陶展」 不昧の指導で地方では稀な雅陶と なった楽山焼、布志名焼の茶碗と 水指などの優品 120 点を紹介し た。	3月20日～ 31日 10日間 (令和2年度 継続事業)	193人	一般 800円 高校生以下 無料	91,700円
小 計	203日	8,618人		2,998,200円
その他事業収入(図録、参加費等)				2,420,894円
民間補助金				900,000円
合 計(出雲市負担金以外の収入)				6,319,094円

※印は自主事業

() は観覧者に含む



「奇々怪々！お化け浮世絵展」
今年の夏は出雲文化伝承館で楽しもう！

◆古典落語

8月3日(土)18時～

◆落語家 春雨や落雷氏
◆演目「お菊の皿」

*参加費 800円

「お化け浮世絵展」観覧付き

*定員 先着50名様です。お早めに！

「お菊の皿」の経緯、お菊の皿の
お話です。経緯の皿を「お菊の皿」
主人に手打ちにされてお菊に落とされず。
その時、お菊の皿が破れた。お菊、
お菊、お菊の皿を救えようという有名な話です。
落語ではこれをパロディにして、お菊を抱え
て大喧嘩。
さて、どんな落ちとどめが待っているか。
これは、ぜひ聞かれます！お楽しみに！



お問い合わせ
出雲文化伝承館 0853-21-2460



「出雲の偉人たち」展 —伝えたい郷土の歴史と文化—

◆記念講演会

10月13日(日) 10時30分～

◆講師 梶谷光弘氏

公益財団法人いづも財団事務局次長

◆演題 「八雲立つ出雲の医学」

*参加無料 *定員 先着60名

【内容】
出雲は江戸時代から多くの名医たちが活躍した医療の先進地でした。
特に、世界で初めて全身麻酔による乳がんの外科手術を行った「華岡青洲の塾」に学んだ、西山砂隠(川崎)と小林文庫(今市)らがおり、このほかにも岩崎宗右衛門尉(佐田)など多くの名医が活躍しました。
今日の講演会では、出雲の医療の歴史と先人の苦悩や地域とのつながりなどをお話しさせていただきます。
講師の梶谷光弘氏は小・中学校に勤務しながら郷土の教育史と医学史を研究され、特に華岡青洲の研究では著名です。



お問い合わせ/お申込み先
出雲文化伝承館 0853-21-2460



出雲文化工房 展示室 (無料)

- ・平野勲 日本の祭り
出雲神伝絵巻
- ・大正、昭和の婚礼衣装
- ・おおたとしこ「コルクの絵
猫たち展」ほか

318 日間

20,812 人

② 平田本陣記念館は展覧会を5回を開催し、観覧者等の合計は11,443人でした。

展 覧 会 名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
「山川惣治展」 「少年王者」「少年ケニヤ」で著名な山川惣治の世界を紹介。戦後の日本に勇気や活力を与えた350点を展示。	4月1日～ 6月9日 60日間	564人 (30年度 526人)	一般 600円 高校生以下 無料	209,400円
「マイメロディ♡キキ&ララ☆展」 「マイメロディ」「リトルツインスターズ」(キキ&ララ)の初代担当デザイナーが描いた作品や、また歴代のデザイナーたちが手掛けたイラスト原画やグッズなどを紹介。244点を紹介。	6月21日 ～ 9月1日 63日間	7,834人	一般 600円 高校生以下 無料	2,434,300円
・立体ぬり絵	期間中	(96人)		
「城戸真亜子展」 女優、司会等で活躍する城戸真亜子の島根で初めての個展を開催。絵画など165点を展示。	9月14日 ～ 11月10日 50日間	1,712人	一般 600円 高校生以下 無料	699,600円
・ギャラリートーク	9/14	(130人)		
「アートになった猫たち展」 江戸時代の浮世絵と日本画を中心に猫をモチーフにしたアート107点を展示。	12月11日 ～ 2月2日 42日間	1,158人	一般 600円 高校生以下 無料	289,450円
・立体ぬり絵	会期中	(34人)		
「羽賀翔一展」 「漫画 君たちはどう生きるか」の原画をはじめ、羽賀のデビューのきっかけとなった「インチキ君」から現在の作品までを紹介。231点を展示。 2月29日実施予定のギャラリートーク・サイン会は中止した。	2月29日 ～ 3月30日 27日間	175人	一般 600円 高校生以下 無料	62,200円
小計	242日	11,443人		3,694,950円
その他収入(図録、物販手数料等)	1,634,554円			
合 計(出雲市負担金以外の収入)	5,329,504円			

※()は観覧者に含む

(2) 出雲和文化交流会事業

伝承館では、平成 14 年に和 문화の普及を目的に発足した出雲和文化交流会との共催で第 17 回目となる出雲和文化まつりを開催し、传统文化の普及、発信に取り組みました。引き続き協賛広告収入を得るなど財源確保に努力しました。

和文化まつり

事業名	内容・講師等	参加者数
第 17 回 出雲和文化まつり 11 月 23・24 日	① 日本舞踊 箏曲・邦楽演奏 出雲邦楽邦舞の会 ② 伝承館こども箏・日本舞踊教室発表 ③ いけばな展 出雲市華道連盟 ④ 伝承館こどもいけばな教室作品展示 ⑤ 呈茶 三斎流・裏千家 ⑥ 伝承館こども茶道教室発表 ⑦ 和菓子職人になろう 出雲菓子協会 ⑧ 煎茶のおいしい飲み方 山陰茶商組合 ⑨ 軽トラ市（稗原マルシェ） ⑩ 着物レンタル&着付けコーナー 出雲呉服商組合 ⑪ 骨董市 ⑫ フリーマーケット ⑬ 食べ物屋台 ⑭ 火の用心・消防車がやって来る（24 日のみ）	約 3,200 人
事業収入（参加券）計 （内協賛広告金等 299,568 円）		838,768 円



(3) 郷土資料調査活用事業

両館では館蔵史料を活用するため、古文書等の整理を行いました。とくに本陣記念館では木佐家文書の整理を行いました。当家の資料は多く、引き続き事業を進めます。

(4) 呈茶事業

おもてなしとお茶の文化が大切にされてきた出雲において、茶道、伝統文化の継承と普及を図るため、伝承館では「松籟亭」で、本陣記念館では「庭園鑑賞ホール」で呈茶事業を行いました。両館とも誘客に努め本年度の利用者は、伝承館では 3,074 人、本陣記念館では 958 人でした。(呈茶事業収入伝承館 1,148,390 円・本陣記念館 297,100 円)

(5) 文化財保存公開事業

① 文化財保存公開

出雲文化の伝統を象徴する伝承館の「出雲屋敷・出雲流庭園」(出雲市指定文化財)、茶室「松籟亭」と「独楽庵」、また本陣記念館の「御成門・御成座敷」と「出雲流庭園」、茶室「悠々庵」の公開と活用を図っていますが、両館とも開館 30 年近くを経過して施設の老朽化が進行しており、年々修繕費が増加しています。館内の建築物や庭園は、一体となった落ち着いたある景観を維持する必要があり、大規模な修繕については引き続き市に要望するとともに、より適正な管理と活用に努めます。

② 団体利用

伝承館では、学校、一般の文化サークル、福祉団体、女性団体、社会教育団体、事業所などの出雲屋敷・庭園見学、茶室体験等での利用や、研修会等において館長、副館長、係長などが講師となり 34 回 891 人に講話や説明を行いました。

本陣記念館での市内小学校対象の館長による民具解説は好評で、16 校(27 回) 948 人の利用がありました。また老人会、社会教育団体、福祉団体など 47 回、699 人の利用があり幅広い利用促進に取り組みました。

③ 博物館資料の寄贈

近年では郷土の貴重な文化財が破棄され、また流出しています。今後も地域の貴重な史料や美術工芸品などの保護につとめ、あわせて博物館資料を充実させて参ります。

本陣記念館への寄贈が 23 件(2 氏より)ありました。

(ア) 小村大雲作「溪山清居」1 幅、(イ) 小村大雲作「端午」1 幅、(ウ) 落合朗風作「道祖神」1 幅、(エ) 落合朗風作「満鮮の女」1 幅、(オ) 落合朗風作「柳と鷺」1 幅、(カ) 落合朗風作「筍」1 幅、(キ) 落合朗風作「秋茄子」1 幅、(ク) 落合朗風作「陶家(とうか)」1 幅、(ケ) 落合朗風作「晨明」1 幅、(コ) 落合朗風作「外房風景」双幅、(サ) 井原雲涯(いばらう

んがい)作「東西南北(とうざいなんぼく)」1幅、(シ)巖谷一六(いわやいちろく)作「春月下窗(しゅんげつかそう)」1幅、(ス)犬養木堂(いぬかいもくどう)作「静夜山堂(せいやさんどう)」1幅、(セ)神楽江卷石(かぐらえけんせき)作「遠上寒山(えんじょうかんざん)」1幅、(ソ)神楽江卷石作「海天清曙(かいてんせいしょ)」1幅 (タ) 久志本梅莊(くしもとばいそう)作「繁星依晴(はんせいいせい)」1幅、(チ) 日下部鳴鶴(くさかべめいかく)作「裙破人帰(くのはじんき)」1幅、(ツ)近藤雪竹(こんどうせっちく)作「松雨洗烟(しょううせんえん)」1幅、(テ)中林梧竹(なかばやしごちく)作「日入柳風(じつにゅうりゅうふう)」1幅、(ト)丹羽海鶴(にわかいかく)作「日落沙明(じつらくさめい)」1幅、(ナ)比田井小琴(ひだいしょうきん)作「いさゝかの」1幅、(ニ)比田井天来(ひだいてんらい)作「智周通塞(ちしゅうつうさい)」1幅、(ヌ)前田黙鳳(まえだもくほう)作「哲人智幾(てつじんちき)」1幅 以上

④ 収蔵資料の貸出・特別利用

収蔵品の貸出や特別利用（熟覧、撮影、写真貸出等）等を行い、その適正な活用と管理に努めました。

【出雲文化伝承館】

申請日	資料貸出・特別利用	貸出先・調査者等	資料名等
6月4日	写真使用、印刷物掲載	株式会社天夢人	奉納出雲国日御碕霊神(刀小野繁慶)
7月5日	資料貸出、写真使用、印刷物掲載	島根県立古代出雲歴史博物館	白糸緋鎧(復元)
7月10日	写真使用	出雲弥生の森博物館	白糸緋鎧(復元)
9月5日	写真使用、印刷物掲載	岡本雅享(福岡県立大学教授)	大国主神像(千家清主画)、大国主神像(千家尊福賛)

【平田本陣記念館】

7月4日	写真使用、印刷物掲載	大田区立龍子記念館	落合朗風肖像写真3点
10月21日	撮影、熟覧	島根県立古代出雲歴史博物館	四季耕作図屏風

⑤ 収蔵庫等の燻蒸、管理

両館の収蔵庫、展示室等の燻蒸、消毒を行い適正な管理に取り組みました。(伝承館

9月、本陣記念館9月・2月)また、トラップによる害虫調査を行い虫害予防に努めました。

⑥館外への講師派遣

【出雲文化伝承館】

開催日	演題	講師	会場、参加者等
6月22日	「出雲流庭園と出雲地方の暮らし」	副館長	出雲農林高校 23人
7月15日	「三斎と不昧一茶の湯の名物ー」	副館長	武志山荘 三斎流 100人
9月15日	「日々の暮らしに生かす室礼あれこれ」	副館長	多伎コミュニティセンター 20人
1月23日	「不昧公のお好み道具」	副館長	松江市総合福祉センター 裏千家 200人

(6) その他 共催事業等

第28回早春の茶会

3月28日・29日開催予定の早春の茶会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

3. 貸館事業



(1) 概況

出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館、出雲文化伝承館、平田本陣記念館の6つの文化施設について、出雲市の指定管理者として施設の管理運営を担い、別添(8)貸館事業資料のとおりご利用いただきました。

管理運営にあたっては、利用者とのコミュニケーションを深めながら施設の特性や地域性を活かした貸出し等を提案するなどご要望にお応えし、また、施設設備の老朽化に伴う修繕、改修にも即応しつつ、適切な維持管理に努めてまいりました。

このような中、令和元年度の貸館事業全体の利用料収入は98,823,732円、前年度比8,051千円余り、8.9%増加しました。その主な増加要因は、出雲市民会館大ホール耐震改修工事のため、平成30年9月まで大ホールの利用を休止していましたが、令和元年度から通年利用が可能となったことなどによるものです。しかしながら、2月末から3月にかけて、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響が甚大となり、平田本陣記念館を除いて、各施設とも大幅な減少となりました。特に3月は各施設のホールの利用はほとんど中止となりました。

また、施設の貸出し状況については、上記理由により出雲市民会館の増加要因はあるものの、感染症拡大防止という減少要因もあり、全体では、利用回数合計7,358回、前年度比92回、1.3%の増、利用人数合計は、323,659人、前年度比38,356人、13.4%の増にとどまったところです。

当面、厳しい状況が続くと思われますが、今後に向けて、望まれている利用者ニーズの把握に努め、芸術文化事業の公演情報の早期入手や施設の利用方法の提案などのほか、市広報紙、各種情報誌をはじめウェブサイト、フェイスブック、ツイッターなど多様な媒体を活用するなど情報提供を充実させ、多くの皆さんにご利用いただけるよう取り組みます。

なお、市内の中学校、高等学校の吹奏楽部、合唱部などの利用は活発であり、当財団

としても、公益財団法人として、学校教育の一環としての利用については施設、設備利用料金の5割を減免し、ご期待にお応えするとともに、「音楽のまち出雲」の推進に大きく貢献しているところです。

それぞれの施設の貸出しの状況については、次の(2)以下に記載するところですが、「貸館事業」としては、芸術文化振興事業及び博物館事業の事業実施舞台として、芸術文化団体等が行う発表会・講演会及び練習等に広く一般市民に貸し出し、芸術文化の振興及び伝統文化の伝承に寄与する「公益目的事業」と営利を目的とする大ホール等の利用や物販等の利用のために貸出しする「収益事業」があります。

その割合は、概ね8割が「公益目的事業」、残り2割が「収益事業」に分類され、その収支は次の通りです。(公益財団法人認定申請における過去の利用実績分析による。)

貸館事業の収支状況		(単位：円)		
区 分		収 入	支 出	収支差額
貸館事業	公益目的事業	257, 119, 693	271, 497, 964	△14, 378, 271
	収 益 事 業	76, 275, 738	63, 956, 890	12, 318, 848
	合 計	333, 395, 431	335, 454, 854	△2, 059, 423

(2) 出雲市民会館

出雲市民会館は、県内でも有数の高い専門性を備えた劇場として、また出雲市のメインホールとして様々な事業が行われました。当財団が主催しました出雲総合芸術文化祭事業では、出雲市では久しぶりの開催でご好評いただいた「松竹大歌舞伎」、中高生をはじめ多くの聴衆を魅了した「カナディアン・ブラス」などの会場として、また音楽のまち出雲にふさわしく市内の中学校、高校の吹奏楽部・合唱部、大学や社会人の吹奏楽団の演奏会の会場として、その他コンサート、演劇、式典、講演会、研修会と広くご利用いただきました。

令和元年度における利用状況は、利用者数については、大ホールが 92, 344 人で前年度比 53, 254 人、136. 2%の増となり、施設全体では、129, 284 人となり、同じく 49, 250 人、61. 5%の増となりました。

また、利用料収入は 41, 453 千円で、前年度に比べ 13, 685 千円、49. 3%の増収となっています。

これは、大ホールが耐震改修工事のため平成 30 年 1 月から 9 月まで利用休止となっていました。令和元年度は、通年で利用が可能となったことによるものです。ただし、

2月末から3月にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を理由としたキャンセルが多く発生したことにより、利用が激減しています。

先行きが不透明ですが、今後とも、利用者のニーズを考慮しつつ多くの方にご利用いただけるよう取り組みます。

(3) ビッグハート出雲

ビッグハート出雲では、芸術文化活動の外、様々な団体の会議や研修などに利用していただきました。

令和元年度の利用者数は 79,159 人で前年比 8.7%の減少となりました。利用回数は前年度より約 0.1%増加し 3,000 回となりました。

最大の施設である白のホールは、利用回数が 171 回で前年度比 32 回の減、利用人数・利用料金とも前年度を下回りました。

令和元年度の事情として、事務室の照明集中制御盤の更新工事が実施されたため、2月4日から6日まで、館全体の利用ができなくなりました。また、エアコン更新工事が実施されたため、2月17日から2月28日までの間、茶のスタジオ、会議室、応接室及びレセプションスペースの利用ができなくなりました。さらに2月以降、新型コロナウイルスの影響によるキャンセルが多くなりました。こうしたことから、施設によっては前年度の利用実績を下回りました。反面、スタッフ控室や練習室は、前年度を上回る利用がありました。

利用料金は、前年比 12.4%減の 4,034 千円減少し、28,410 千円となりました。このうち白のホールは、18.2%減の 2,226 千円減額となりました。

(自主事業)

自主事業については、令和元年度も地域芸術文化活性化事業として実施しました。8月4日、ビッグハート出雲「白のホール」を会場として「ビッグ・ハートフルコンサート 2019 初めてのオーケストラーぼくとわたしのコンサートデビュー」と題して、小さなお子様連れのお客さまにも気遣いなく楽しんでいただけるコンサートを開催しました。演奏は、出雲芸術アカデミーオーケストラにお願いしました。

まず、オーケストラを構成する楽器を分かりやすく紹介し、それぞれの楽器で動物の鳴き声などを演奏しました。演奏に入ると、著名なクラシック楽曲に加え、子どもたちに親しみ深いアニメーションの主題歌や、ディズニーのテーマなど子供たちに親しみやすい構成といたしました。さらに3名の希望者を募って指揮者体験コーナーを開催しました。アンコールでは参加者全員が手拍子で演奏に参加し楽しいひとときを過ごしました。

441 席に対し 423 名に入場いただきました。コンサートに関するアンケートにおいては、一部駐車場の不足についてご指摘がありましたが、小さな子どもを連れて楽しく参加できるコンサートの開催を歓迎するとともに、コンサートを楽しんだとの意見が大部分でした。



今後も魅力ある自主事業の実施に努めるとともに、施設、設備器具などの特徴や利用方法の説明など丁寧な対応に努めてまいります。

(4) 平田文化館

平田文化館は地域に根ざした文化交流の場として、コンサート、講演会、展示会及び諸会議等に広く利用いただいております。

また、文化の向上を図るため雲州平田文化協会及び加盟する 19 団体の活動を支援し、文化館を主会場としたイベント等を開催することにより、地域の文化活動の拠点としての役割を果たしてまいりました。

令和元年度は、前年度に実施のあった周年事業などの減に加え、本年 2 月末からの新型コロナウイルス感染防止に伴うキャンセルの影響などにより、利用回数は前年度比 14.3%の減、利用者数も同 13.3%の減となりました。

その結果、利用料収入は 6,842 千円で、前年度比 1,217 千円、15.1%の減となりました。

当分の間、新型コロナウイルス感染症による影響が続くと見込まれますが、感染防止対策の徹底を図るとともに、引き続き利用者の皆様方の意見も取り入れながら、利用の促進に努めてまいります。

(5) 大社文化プレイスうらら館

600 席のだんだんホール及び 200 人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、また、出雲市立大社図書館との複合施設という特徴も活かした地域の文化活動の拠点として多くの皆様にご利用いただきました。

また、各種文化団体で組織する「たいしゃ芸術文化祭実行委員会」を支援し、地域における芸術文化の水準を高め、様々な活動への住民参加を促すよう努めてまいりました。

本年度の利用実績は、4 月から翌 2 月までは前年度とほぼ同様となりましたが、新型コロナウイルス感染症に起因するキャンセルの影響により 3 月が大幅な減となり、通年では利用回数、利用者数ともに減少となりました。

利用回数は、だんだんホールが 136 回で前年度比 32 回の減、全体では 917 回で 73 回の減となり、利用者数は、だんだんホールが 31,817 人で前年比 5,969 人の減、全体では 41,411 人で前年比 6,556 人の減となりました。

また、利用料金収入についても 15,826 千円と前年度より 1,188 千円の減収となりました。

今後も、利用にあたってのご意見等を参考に業務改善を重ね、多くの皆様に満足してご利用いただけるよう努めてまいります。

(6) 出雲文化伝承館

出雲文化伝承館では、縁結び交流館をはじめ出雲文化工房、出雲屋敷、出雲流庭園、茶室「松籟亭」及び茶室「独楽庵」など、それぞれが持つ多様な特色を活かした施設の利用促進に努めました。

令和元年度は、前年度に比べ、貸出回数は 15 回増加し合計 1,034 回で、利用料金収入は 143 千円増の 5,236 千円で 2.8%の増収となりました。

また、貸出施設の利用者の総数は 30,169 人で前年度比 608 人の減少となりました。

特に利用が増えたのは、婚礼写真等の撮影による出雲流庭園のご利用でした。

また、縁結び交流館については、これまで定期利用していただいた複数の団体が活動の中止、縮小されるなどの状況がありましたが、一方で、ホームページなどにより、新規の利用者も増加しました。

さらに、平成 30 年から貸出施設となった茶室「独楽庵」は、問い合わせや見学もあり、本格的な茶道でのご利用がありました。

なお、本年 2 月末からの新型コロナウイルスの感染防止に伴うキャンセルも多くありましたが、利用料収入は増加となりました。

今後は当分の間、新型コロナウイルス感染症による影響が続くことが見込まれますが、感染防止対策を図りながら、丁寧な対応・説明を心がけ利用の促進に努めてまいります。

（自主事業）

出雲文化伝承館では9のこども教室を開催し、あわせて幼稚園へ邦楽邦舞「ミニ鑑賞会」（アウトリーチ）を2か所で行いそれぞれ好評でした。大人対象では6つの講座等を開催し伝統文化の継承、芸術文化振興を図りました。なお出雲市文化協会より助成金をいただくなど財源確保に努力しました。

《教室・講座》

① こども教室・ミニ鑑賞会

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に9の体験教室等を開催し、こども教室ではのべ761人の参加者がありました。

② 文化講座（一般対象）

絵画教室など6つの講座等を開催し、計228人の参加者がありました。

① こども教室

ア【こども和文化クラブ】

	教室名	実施日	生徒数	参加費（円）	講師等
1	こども箏教室	月2回	11	2,500	出雲邦楽邦舞の会
2	こども日本舞踊教室	月2回	4	2,500	出雲邦楽邦舞の会
3	こども茶道教室	月2回	4	2,500	三斎流
4	こどもいけばな教室	月1回	15	1,500	出雲市華道連盟 小原流
	合計		34 (のべ 276)	578,000	

イ【夏休み等のこども教室】

	教室名	実施日	生徒数	参加費（円）	講師等
1	水彩画教室 低学年	7月27日	21	500	金築秀俊氏 春日美由紀氏ほか

	水彩画教室 高学年	〃	40	700	
2	和菓子作り体験 教室、お抹茶体験 教室	7月28日	23	1,000	出雲菓子協会、 裏千家
3	やきもの教室	7月20日	25	1,000	糸賀正和氏 岡美恵子氏
	やきもの教室（親子）	8月4日	26	1,000	
4	学校茶道合同茶会	12月8日	生徒 77	無料	三斎流
			一般 45	500	
5	いけばな教室	12月8日	8	1,200	出雲市華道連盟 池坊
	合計		265	144,600	

ウ【幼稚園訪問ミニ鑑賞会】

	実施幼稚園	実施日	人数	参加費	講師等
1	塩冶幼稚園	2月19日	185	無料	出雲邦楽邦舞の会
2	稗原幼稚園・小学校	2月27日	26	無料	出雲邦楽邦舞の会
	合計		211		

② 文化講座（一般対象）

	講座名	実施日	人数	参加費（円）	講師等
1	つるし雛を作ろう！	4月27日	27	無料	「出雲つるし雛」世界 ギネス認定プロジェクト
2	能楽の楽しみ方と ワークショップ	5月11日	80	無料	種田道一氏
3	絵画教室	6月16日	一般 32 高校生以 下 6	1,500 ※高校生以下無料	出雲市洋画連盟委員
4 ①	出雲流庭園講座 1 回目	6月23日	30	300	島根県技術士会 原裕二氏
②	出雲流庭園講座 2回目	6月30日	29	300	島根県技術士会 伊藤幹郎氏
5	掛軸の取り扱い方 教室	12月14日	4	1,000	担当学芸員

6	大人のためのはじめての陶芸教室	1月12日 1月25日	20	1,500	糸賀正和氏 岡美恵子氏
	合計		228	99,700	

※文化講座アンケート 151 枚

参加費 合計	822,300 円
民間補助金	150,000 円
雑収入	29,613 円
自主事業収入合計	1,001,913 円

出雲文化伝承館《文化講座》

能楽師 種田 道一氏による
「能楽の楽しみ方とワークショップ」

◆日時 2019年5月11日(土)
10時30分～12時

◆会場 出雲文化伝承館「縁結び交流館」

◆講師 能楽師 種田 道一氏

◆入場無料 定員80名
電話でお申し込みください
出雲文化伝承館 ☎0853-21-2460



文化講座

絵画教室



静物や人物(着衣)をモチーフに、
実技指導を受けながら
油絵、水彩画を制作します。

6/16日 定員50名

◎9時30分～17時(受付9時)

◎縁結び交流館

【講師】出雲市洋画連盟委員

参加費：一般 1,500円
(高校生以下無料)

※電話で申込みください。(先着順)

文化講座

出雲流庭園講座



① **6/23日** 定員30名

◎10時～12時 ◎出雲屋敷

【講師】原 裕二(鳥根県技術士会)

テーマ「出雲流庭園の石材」

② **6/30日**

◎10時～12時 ◎出雲屋敷

【講師】伊藤幹郎(鳥根県技術士会)

テーマ「出雲文化と庭園」

～出雲文化伝承館の建設にまつわる人々～

参加費：各300円

※電話で申込みください。(先着順)

(7) 平田本陣記念館

本館・展示館及び茶室などそれぞれの施設の特色を活かし、施設の利用促進に努めました。貸館事業入館者数は12,499人で前年度比8,721人、231%の増でした。利用料収入については1,057千円で前年度比663千円、168%の増となりました。

貸館事業入館者数及び利用料収入ともに前年度と比べかなり増加いたしました。利用料金増額の主なものとして、市内団体主催によるイベントを本館、展示館の両館を数日間占用していただいたことが大きな要因でした。このことにより、総入館者数も30,410人で前年度比10,313人の増となりました。



引き続き、多くの方に施設利用していただくために、ホームページ・フェイスブックやツイッター等を活用し、積極的に情報発信してまいります。また、様々な催し物に使用していただくために丁寧な接客に努めるとともに出雲流庭園を活用した施設利用法の創意工夫を図ってまいります。



（自主事業）

① こども教室

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に4つの体験教室を開催し、71人参加していただきました。これらの教室をきっかけに本陣に初めて来館されたご家族もあり、講座や展示館の作品鑑賞並びに本陣ならではの建築物・庭園を楽しんでいただきました。

② 一般対象講座

茶道・掛軸教室では、今回参加者を少人数に絞り込み、講師の先生が参加者一人一人丁寧に繰り返し教えていただけるように企画しました。教室終了後、参加者から有意義な講座であったとの意見をいただきました。

①こども教室、②一般対象講座 集計

教 室 名	参 加 者	講 師	参加費	備 考
①カレー皿絵付け教室	1回 25人	岩佐昌昭氏	1,500円	
①書道教室	1回 14人	吾郷佳昭氏	500円	
①親子茶道教室	1回 16人	吉田久里氏	500円	
①親子いけばな教室	1回 16人	堀江美智子氏	1,500円	
②茶道教室	1回 7人	吉田久里氏	500円	
②掛軸教室	1回 6人	博物館事業部次長他	500円	
計	84人			
■参加費等合計				83,000円

(8)貸館事業資料

出雲市民会館

令和元年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較
大ホール	162	76	86	92,344	39,090	53,254	22,767,666	10,587,071	12,180,595
楽屋	396	218	178				1,613,532	661,007	952,525
展示室	71	54	17	2,840	3,204	△ 364	1,910,404	1,627,973	282,431
202多目的室	170	146	24	3,660	3,124	536	2,180,728	1,811,820	368,908
301会議室	229	227	2	15,505	16,159	△ 654	6,323,718	6,116,667	207,051
302研修室	210	235	△ 25	5,932	7,725	△ 1,793	2,296,411	2,494,409	△ 197,998
303研修室	180	165	15	959	959	0	917,278	751,630	165,648
304学習室	256	254	2	5,045	4,954	91	1,913,902	1,995,291	△ 81,389
305学習室	216	269	△ 53	2,999	4,819	△ 1,820	1,529,133	1,721,870	△ 192,737
合計	1,890	1,644	246	129,284	80,034	49,250	41,452,772	27,767,738	13,685,034

令和元年度大ホール月別催し物開催数

(単位＝回)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会他	3	3	5	1	5	7	6	7	1		2		40	20
発表会 (吹奏楽、合唱他)	2	2	4	3		3	3	6	9				32	22
コンクール (吹奏楽、合唱他)					4								4	0
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)	2	1	1		3	2	3		1				13	9
コンサート (クラシック)		2	1	3	2				1	2	2		13	11
伝統芸能、古典、舞踏他	2		2	2									6	0
演劇、ショー、映画	1	1				1		1	4	2	1		11	4
練習		2	3	18	8	1	3	3	5				43	10
その他													0	0
合計	10	11	16	27	22	14	15	17	21	4	5	0	162	76
休館日(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	1	18	12
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183
稼働日数(日)	10	11	15	23	19	14	15	14	20	4	5	0	150	74
稼働率	34.5%	36.7%	51.7%	76.7%	63.3%	48.3%	50.0%	48.3%	71.4%	14.8%	17.9%	0.0%	43.0%	43.5%

ビッグハート出雲

令和元年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較
白のホール	171	203	△ 32	26,747	29,953	△ 3,206	10,199,385	12,465,896	△ 2,266,511
控室	281	332	△ 51				585,744	703,778	△ 118,034
アートギャラリー	61	80	△ 19	4,835	6,813	△ 1,978	1,515,459	1,966,677	△ 451,218
茶のスタジオ	285	346	△ 61	13,337	15,589	△ 2,252	4,371,047	5,346,200	△ 975,153
黒のスタジオ	192	188	4	8,316	8,347	△ 31	3,165,159	3,222,772	△ 57,613
スタッフ控室	333	273	60	2,143	1,698	445	1,343,867	1,123,120	220,747
会議室	328	400	△ 72	5,530	6,491	△ 961	2,160,140	2,524,827	△ 364,687
レセプションスペース	250	232	18	7,124	6,835	289	2,284,153	2,028,634	255,519
練習室	614	416	198	1,316	950	366	607,688	482,547	125,141
文化サロン	280	275	5	5,307	4,920	387	976,496	947,364	29,132
応接室	205	252	△ 47	1,504	1,798	△ 294	1,200,964	1,632,669	△ 431,705
合計	3,000	2,997	3	76,159	83,394	△ 7,235	28,410,102	32,444,484	△ 4,034,382

令和元年度白のホール月別催し物開催数

（単位＝回）

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他	6	4	4	8	1	14	13	4	4	5	2		65	67
発表会 （吹奏楽、合唱他）	5	1	2	6		1	1	5	8	1	9		39	47
コンクール （吹奏楽、合唱他）					1		1	3					5	7
コンサート （歌謡、ポップス、演歌他）		1	2		3		3		1				10	17
コンサート （クラシック）	3	1			2	1	4	1	1	2		1	16	23
伝統芸能、古典、舞踏 他	1	2							2		2		7	8
演劇、ショー、映画			1		1	1		2					5	6
練習				7	9	1		1	3	1	1		23	28
その他												1	1	0
合計	15	9	9	21	17	18	22	16	19	9	14	2	171	203
開館日数（日）	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	28	30	348	347
休館日（日）	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	1	18	18
工事等（日）													0	0
稼働日数（日）	15	9	9	21	13	17	19	13	16	8	13	2	155	182
稼働率	52%	30%	31%	70%	43%	59%	63%	45%	59%	30%	46%	7%	45%	52%

平田文化館

令和元年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較
プラタナスホール	90	104	△ 14	21,789	26,324	△ 4,535	4,107,114	4,847,015	△ 739,901
小ホール	70	88	△ 18	4,822	6,209	△ 1,387	1,079,620	1,363,378	△ 283,758
会議室1	86	78	8	2,517	2,679	△ 162	698,227	726,434	△ 28,207
会議室2	49	51	△ 2	2,359	2,368	△ 9	410,594	471,811	△ 61,217
和室1	27	46	△ 19	861	502	359	125,074	175,680	△ 50,606
和室2	37	51	△ 14	1,409	857	552	228,739	228,043	696
応接室	78	92	△ 14	380	414	△ 34	192,587	246,736	△ 54,149
合計	437	510	△ 73	34,137	39,353	△ 5,216	6,841,955	8,059,097	△ 1,217,142

令和元年度プラタナスホール月別催し物開催数

（単位：回）

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他	2	7	6	5		5	5	5	1	1			37	36
発表会 （吹奏楽、合唱他）					2	2	4		1				9	9
コンクール （吹奏楽、合唱他）													0	0
コンサート （歌謡、ポップス、演歌他）							4	5		2			11	19
コンサート （クラシック）											2		2	0
伝統芸能、古典、舞踏 他								1			2		3	5
演劇、ショー、映画			1				1			1			3	2
練習		1	1	2	9	1	1		1				16	20
その他			2		1	2	2	1		1			9	13
合計	2	8	10	7	12	10	17	12	3	5	4	0	90	104
開館日数（日）	26	27	26	26	27	26	26	26	24	24	25	26	309	258
休館日（日）	4	4	4	5	4	4	5	4	7	7	4	5	57	57
工事等（日）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
稼働日数（日）	2	8	9	7	11	10	14	10	3	5	4	0	83	100
稼働率	8%	30%	35%	27%	41%	38%	54%	38%	13%	21%	16%	0%	27%	39%

大社文化プレイスうらら館

令和元年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較
だんだんホール	136	168	△ 32	31,817	37,786	△ 5,969	10,679,577	11,230,212	△ 550,635
楽屋	345	362	△ 17				722,304	733,839	△ 11,535
ごえんホール	117	139	△ 22	6,532	7,245	△ 713	2,833,902	3,379,935	△ 546,033
第1会議室	147	140	7	2,558	2,305	253	655,293	618,223	37,070
第2会議室	120	106	14	254	156	98	550,965	506,303	44,662
第3会議室	50	73	△ 23	250	435	△ 185	379,079	541,657	△ 162,578
だんだんテラス他	2	2	0		40	△ 40	4,999	4,799	200
合計	917	990	△ 73	41,411	47,967	△ 6,556	15,826,119	17,014,968	△ 1,188,849

* 第1会議室、第2会議室を同時に利用された場合の利用人数は、第1会議室に計上しています。

令和元年度だんだんホール月別催し物開催数

（単位＝回）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
区分														
会議、大会、講演会 他	3	5	4		2	2	3	1	1		2		23	36
発表会 （吹奏楽、合唱他）	4	2	7	3	1	2	6	8	11	6	3		53	50
コンクール （吹奏楽、合唱他）													0	2
コンサート （歌謡、ポップス、演歌他）								2		1	2		5	1
コンサート （クラシック）			2			1	2		1				6	8
伝統芸能、古典、舞踏他								2		3			5	8
演劇、ショー、映画				3	1		1			2			7	11
作品展示													0	0
練習		4		7	16	4			3	1	1		36	51
その他							1						1	1
合計	7	11	13	13	20	9	13	13	16	13	8	0	136	168
開館日数（日）	26	27	26	26	27	25	27	26	24	24	25	26	309	308
休館日（日）	4	4	4	5	4	5	4	4	7	7	4	5	57	57
工事等（日）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数（日）	7	10	11	13	16	7	13	12	15	12	8	0	124	140
稼働率	27%	37%	42%	50%	59%	28%	48%	46%	63%	50%	32%	0%	40%	45%

出雲文化伝承館

令和元年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

		利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
		R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較
出雲屋敷		37	45	△ 8	2,736	2,577	159	487,899	304,265	183,634
出雲流庭園		238	198	40	1,870	2,519	△ 649	541,881	448,321	93,560
松籟亭		51	56	△ 5	1,945	3,312	△ 1,367	400,841	408,917	△ 8,076
独楽庵		2	2	0	27	10	17	41,170	14,565	26,605
本館展示室		0	0	0	0	0	0	0	0	0
文化工房	陶芸窯	51	64	△ 13	619	638	△ 19	176,640	216,000	△ 39,360
	実習室	101	106	△ 5	1,609	1,333	276	179,773	180,912	△ 1,139
縁結び交流館		554	548	6	21,363	20,388	975	3,407,829	3,519,224	△ 111,395
合計		1,034	1,019	15	30,169	30,777	△ 608	5,236,033	5,092,204	143,829

主な施設貸出例	
出雲屋敷	茶会、結婚披露宴(出雲祝言)、出雲流庭園勉強会ほか
出雲流庭園	婚礼、成人式、七五三など写真撮影
松籟亭	茶会、香会ほか
文化工房	陶芸、そば打ち、書道、学習会ほか
縁結び交流館	作品展覧会、ダンス、音楽会、吹奏楽練習、大会、研修会、講演会、着物展示会、会議ほか

平田本陣記念館

令和元年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

		利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
		R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較	R元年度	H30年度	比較
本館		32	17	15	5,615	283	5,332	429,040	87,500	341,540
展示館		13	19	△ 6	6,560	3,110	3,450	492,633	157,357	335,276
茶室		21	27	△ 6	254	197	57	84,668	85,050	△ 382
撮影		14	43	△ 29	70	188	△ 118	2,800	8,600	△ 5,800
設備器具貸出のみ				0			0	47,610	55,370	△ 7,760
合計		80	106	△ 26	12,499	3,778	8,721	1,056,751	393,877	662,874

主な施設貸出例	
本館	研修会、イベント
展示館	美術展、作品展、イベント
茶室	茶会、研修会
撮影	婚礼など前撮り
器具貸出	平田地区コミュニティセンター等パネル貸出

Ⅲ 収益事業

１．貸館事業

収益事業に係る貸館については、営利を目的とするホールの利用や、物販等のための利用であり、その概況や施設別の状況は、Ⅱ公益目的事業 ３．貸館事業において一括して記載しています。

２．その他事業

(１) 物販事業

ア、平田本陣記念館

利用促進、来店記念のため受託物販売や図録等を販売し、売上は 23,980 円となりました。

イ、大社文化プレイスうらら館

貸館利用促進のため、切手類を販売し、売上は 161,480 円となりました。

(２) 大社図書館管理事業

出雲市立大社図書館は、大社文化プレイスうらら館との合築、複合施設であることから、その施設管理について、施設・設備管理、警備等の業務の一括管理や光熱水費、損害賠償保険料などの一括支払い、消耗品の交換・補充等を受託し、費用は、面積に応じて受託費として収入に計上しております。

Ⅳ 理事会及び評議員会の開催状況

〈第 27 回理事会〉

開催年月日：令和元年(2019)5 月 14 日(火)

開催場所：ビッグハート出雲 茶のスタジオ

1. 議題

- (1) 第 1 号議案 平成 30 年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告の承認について
- (2) 第 2 号議案 平成 30 年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)の承認について
- (3) 第 3 号議案 令和元年度(2019)定時評議員会の開催について

2. 報告事項

- (1) 評議員辞任に伴う後任の評議員の選任について
- (2) 任期満了に伴う理事の選任について
- (3) 財団職員体制について

〈第 28 回理事会（書面表決）〉

開催年月日：令和元年(2019)5 月 30 日(木)

1. 議題

- (1) 第 1 号議案 理事長の選定について
- (2) 第 2 号議案 副理事長の選定について
- (3) 第 3 号議案 常務理事の選定について

〈第 29 回理事会〉

開催年月日：令和元年(2019)8 月 30 日(金)

開催場所：出雲市民会館 201 展示室

1. 議題

- (1) 第 1 号議案 令和元年度(2019)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第 1 号)

2. 報告事項

- (1) 代表理事(理事長) 報告
- (2) 業務執行理事(常務理事) 報告

〈第 30 回理事会〉

開催年月日：令和2年(2020)2月25日(火)

開催場所：出雲市民会館302会議室

1. 議題

- (1) 第1号議案 令和元年度(2019)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第2号)
- (2) 第2号議案 令和元年度(2019)特定費用準備資金の設定について(出雲 Jr. フィル・地域間交流演奏会)
- (3) 第3号議案 令和2年度(2020)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
- (4) 第4号議案 令和2年度(2020)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
- (5) 第5号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則
- (6) 第6号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則

2. 報告事項

- (1) 代表理事(理事長)報告
- (2) 業務執行理事(常務理事)報告
- (3) 財団事務局規程の一部改正について
- (4) 職員の異動について

〈令和元年度定時評議員会(第9回評議員会)〉

開催年月日：令和元年(2019)5月30日(木)

開催場所：ビッグハート出雲 茶のスタジオ

1. 報告事項

- (1) 平成30年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告について

2. 議題

- (1) 第1号議案 平成30年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算(正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録)の承認について
- (2) 第2号議案 評議員辞任に伴う後任の評議員の選任について
- (3) 第3号議案 任期満了に伴う理事の選任について

3. 一般報告事項

- (1) 第26回理事会決議(平成31年2月22日)の報告について
 - ① 平成31年度(2019)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
 - ② 平成31年度(2019)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
 - ③ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団就業規則の一部を改正する規則

- ④ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則
 - ⑤ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則
- (2) 財団職員体制について

〈第 8 回評議員・役員合同会〉

開催年月日：令和元年(2019)8 月 30 日(金)

開催場所：出雲市民会館 202 多目的室

1. 報告事項

- (1) 令和元年度(2019)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第 1 号)
- (2) 事業進捗状況の報告等
 - ① 博物館事業の経過報告と「出雲の偉人たち」展について
 - ② 芸術文化事業の進捗状況及び出雲芸術アカデミー事業について

令和元年度公益財団法人出雲市芸術文化振興財団組織図(令和元年6月1日現在)

理事会は理事13名、監事2名、評議員会は11名で構成しています。職員体制は、職員26名、音楽教育指導員1名、専門員1名、準職員・臨時職員等16名の計44名です。

